

認 定 書

国住指第 2523 号
平成 24 年 12 月 3 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役 守谷 承弘 様

国土交通大臣 羽田 雄一郎



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-0633
2. 認定をした構造方法等の名称
給水管・排水管・ケーブル／黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく積層紙・シリコン系樹脂シール材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

給水管・排水管・ケーブル／黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく積層紙・シリコーン系樹脂シール材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

2. 申請仕様の寸法等：

申請仕様の寸法等を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法等

項 目		申 請 仕 様
開 口 部	形 状	円形(φ52mm以下)
	面 積	0.0022m ² 以下
配管と壁との隙間の寸法(クリアランス)		1～5mm
占 積 率 (開口面積に対する配管の断面積の割合)		91.2%以下
貫通する壁の構造等		片面強化せっこうボード重張／軽量鉄骨下地間仕切壁 (国土交通大臣認定耐火構造：FP060NP-0007、FP060NP-0046、FP060NP-0049) 厚さ42mm以上

3. 申請仕様の構成材料：

申請仕様の構成材料を表2に、配管の構成材料を表3に示す。

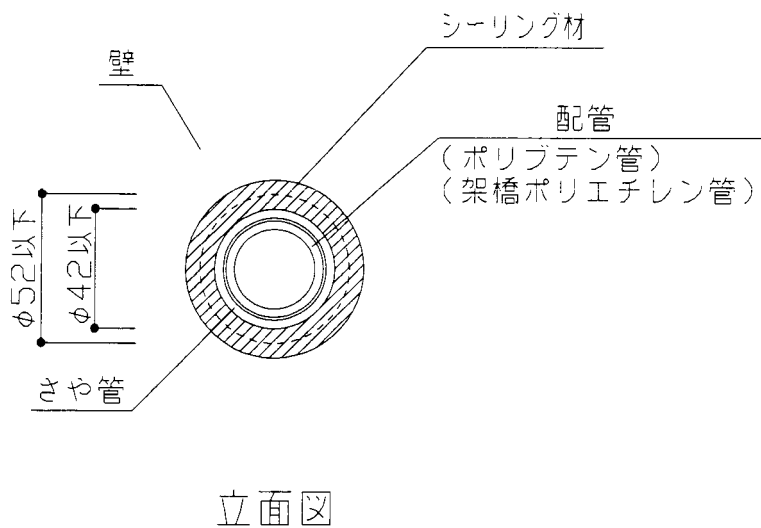
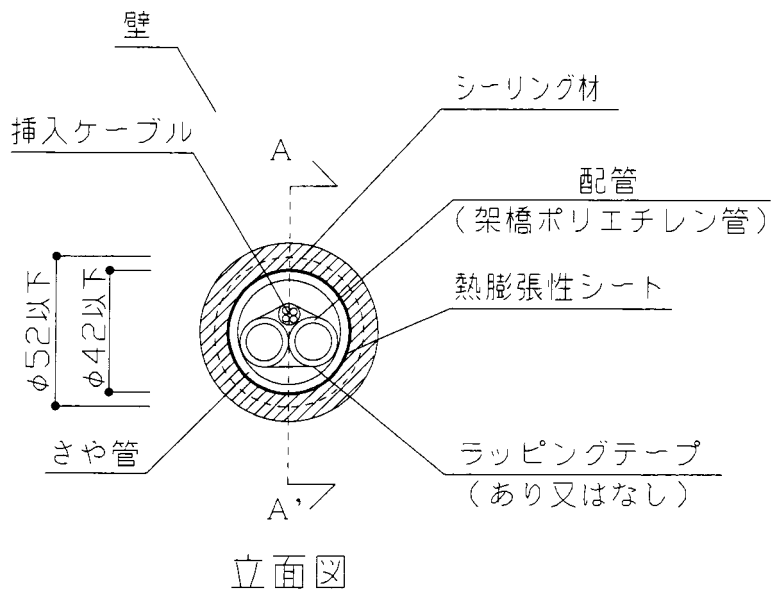
表2 申請仕様の構成材料

項 目	申 請 仕 様		
熱膨張性シート	材料	黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく積層紙	
	寸法	総厚さ：0.64mm以上 幅：60mm以上(貫通部内に42mm以上埋設)	
	基材	材料	アルミニウムはく積層紙
		厚さ	0.14(-0.015)～0.16(+0.02)mm
	シート	材料	黒鉛含有ブチルゴム
		厚さ	0.5mm以上
		組成 (質量%)	
充てん材	材料	シリコーン系樹脂(建築用シーリング材：JIS A 5758)	
	使用箇所	配管と壁との隙間(両側の壁面)	
	使用量	40g/m以上(両側の壁面に密に施工)	

表3 申請仕様の配管の構成材料

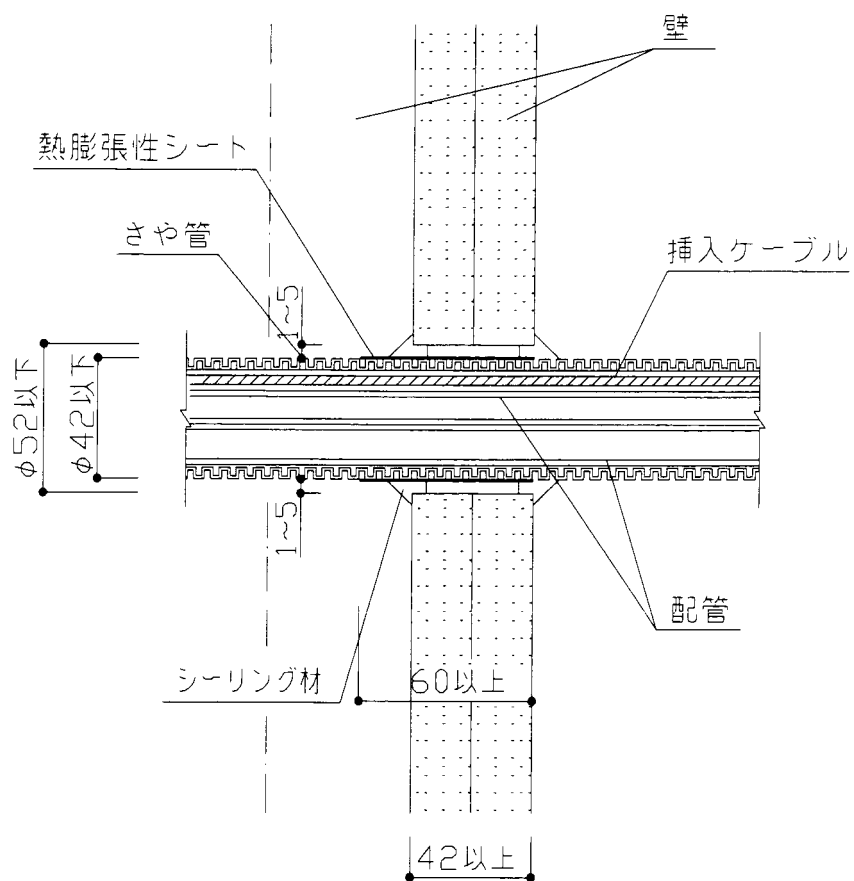
項目		申請仕様				
給水管 ・ 排水管 (以下、 配管と いう)	さや管	材料	ポリエチレン系樹脂管			
		外径	φ42.0mm以下			
		内径	φ36.0mm以下			
	挿入管	I	材料	架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787)		
			外径	φ17mm以下×2本以下 ※ダブル管 (2本使用) の場合、必要に応じてラッピングテープ (アルミニウムはく/PETフィルム) を巻き付ける		
			厚さ	2.1mm以下		
		II	材料	架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787)		
			外径	φ27.0mm以下		
			厚さ	3.25mm以下		
	III	材料	ポリブテン管 (JIS K 6778、JIS K 6792)			
		外径	φ34.0mm以下			
		厚さ	2.95mm以下			
	単管 (さや管なし)	IV	材料	架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787)		
			外径	φ27.0mm以下		
			厚さ	3.25mm以下		
		V	材料	ポリブテン管 (JIS K 6778、JIS K 6792)		
			外径	φ42.0mm以下		
			厚さ	3.55mm以下		
VI		被覆材	材料	被覆材付架橋ポリエチレン管		
			材料	オレフィン系熱可塑性エラストマー		
			厚さ	2.0mm以下		
		内管	密度	900kg/m ³		
			材料	架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787)		
			外径	φ27.0mm以下		
厚さ	3.25mm以下					
挿入ケーブル	導体 (又は芯線)	断面積	0.75mm ² 以下			
		種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質			
	絶縁体	材料	塩化ビニル系	厚さ	0.6mm以下	
	シース	材料	塩化ビニル系	厚さ	1.0mm以下	

4. 申請仕様の構造説明図：
申請仕様の構造説明図を図1～図4に示す。



※さや管を用いた仕様の場合

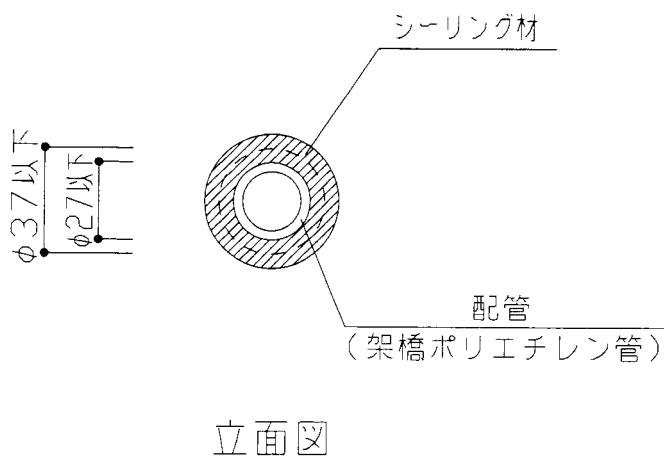
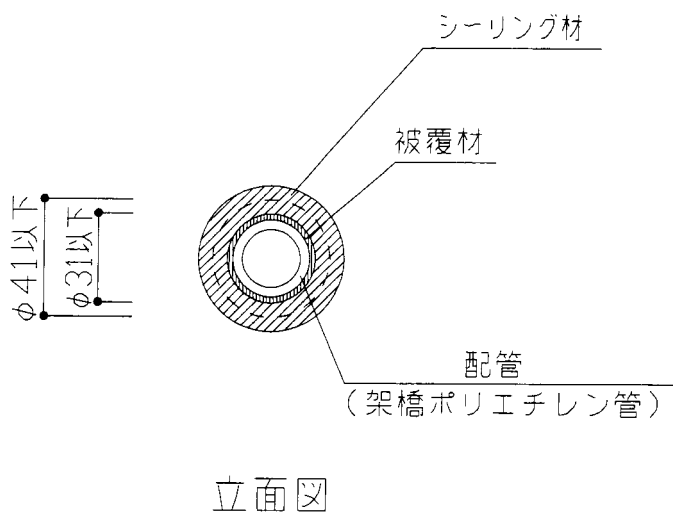
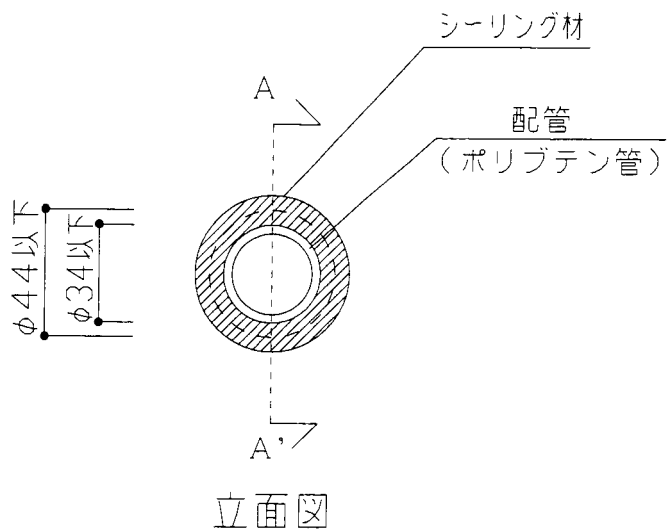
図 1 構造説明図



A - A' 断面図

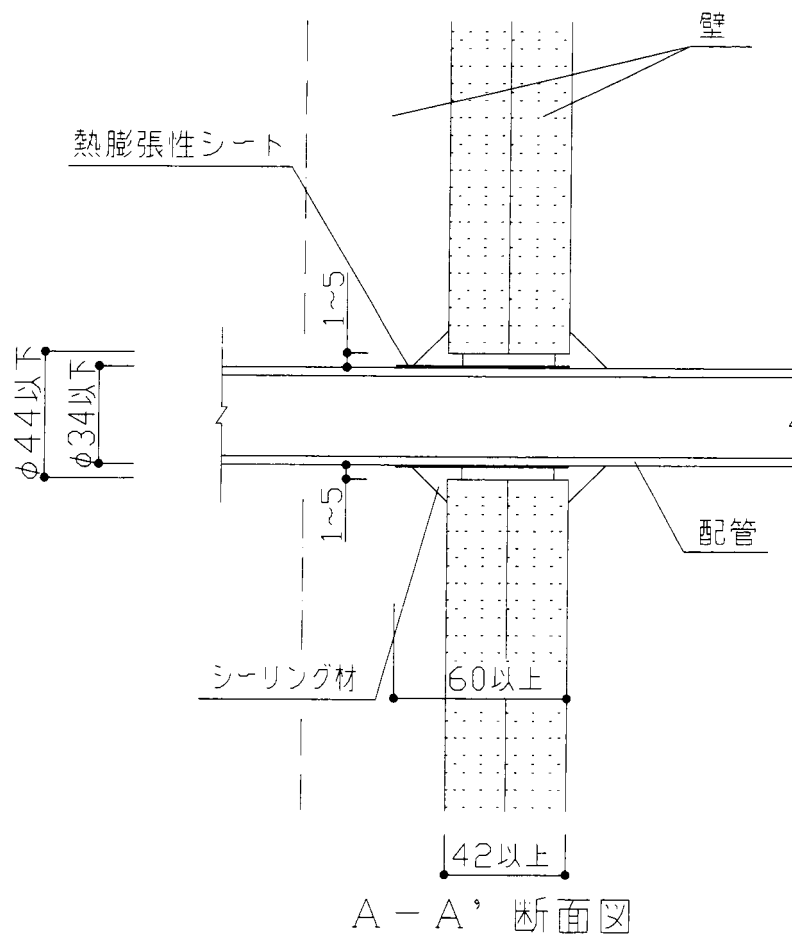
※さや管を用いた仕様の場合

図2 構造説明図



※単管を用いた仕様の場合

図3 構造説明図



※単管を用いた仕様の場合

図 4 構造説明図

5. 施工方法：

施工図を図5及び図6に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口部の確認

開口部の開口面積、配管の寸法(配管の断面積及び種類等)、占積率、壁の仕様、壁の厚さ等が申請仕様に適していることを確認する。

(2) 熱膨張性シート巻付け位置の設定

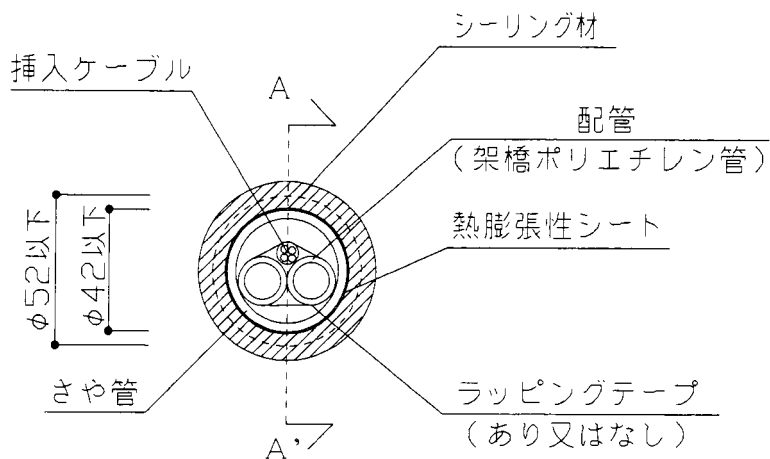
配管の熱膨張性シートを巻付ける位置に墨出しをする。墨の位置は巻付けた熱膨張性シートが壁貫通部内に全て入るような位置となるようにする。

(3) 熱膨張性シートの巻付け

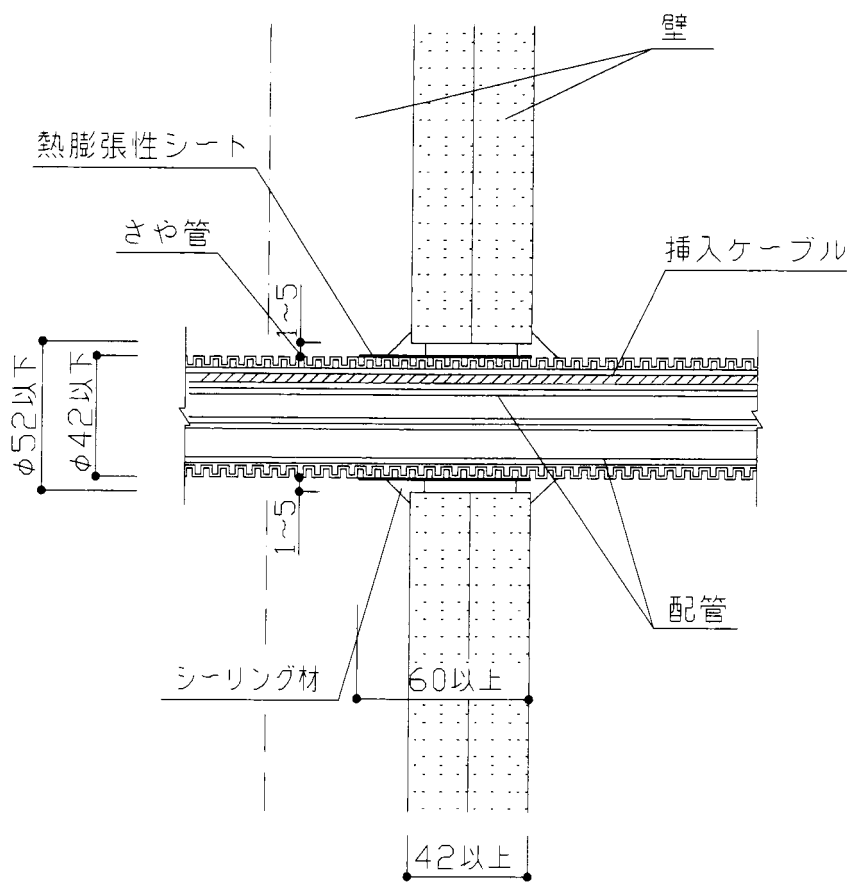
上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻付ける。なお熱膨張性シート巻付けの初端と終端は、隙間無く必ず接するように巻付けるか、端部を重ね合わせることを。

(4) 開口部の埋戻し

配管を所定の位置に設置し、壁両側の隙間を充てん材(シリコーン系樹脂)で密に充てんする。



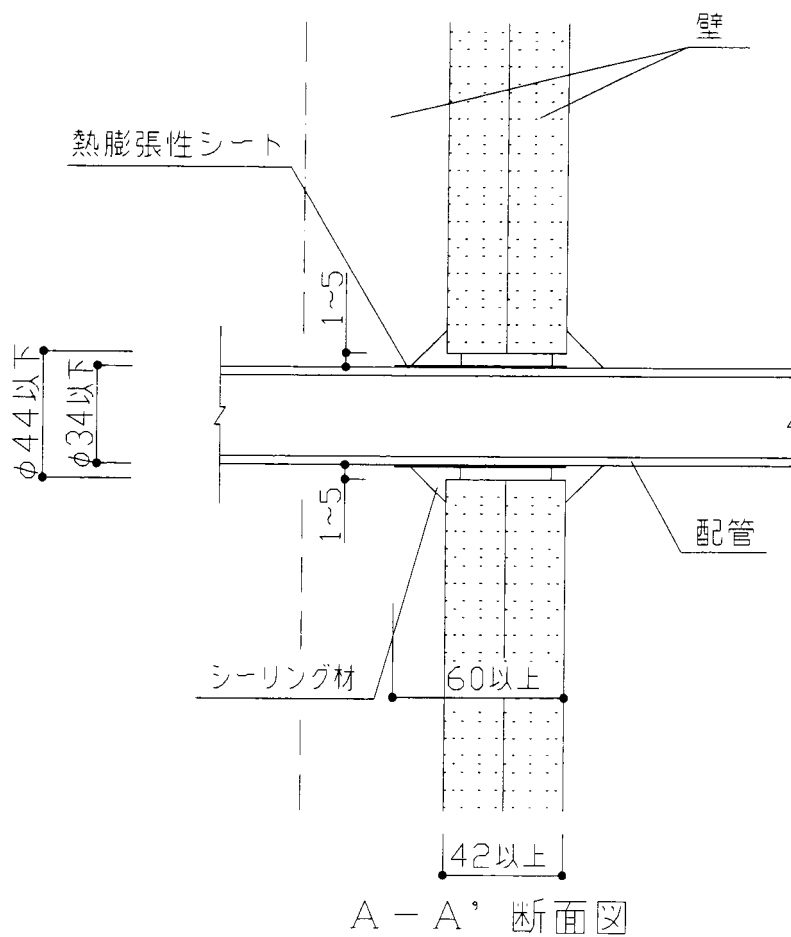
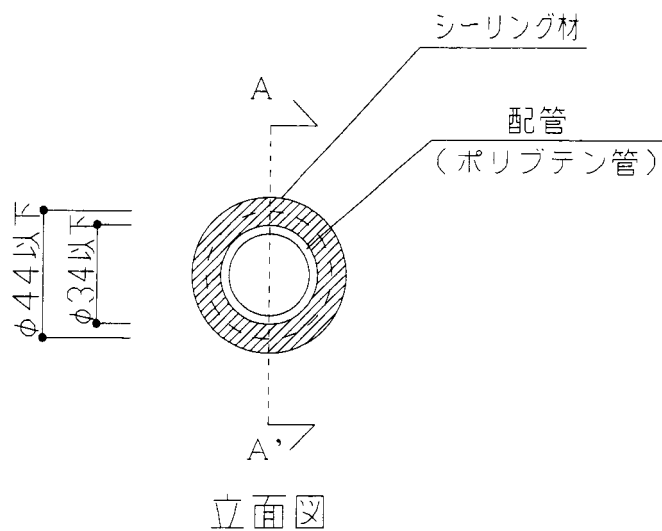
立面図



A - A' 断面図

※さや管を用いた仕様の場合

図5 施工図



※単管を用いた仕様の場合

図6 施工図